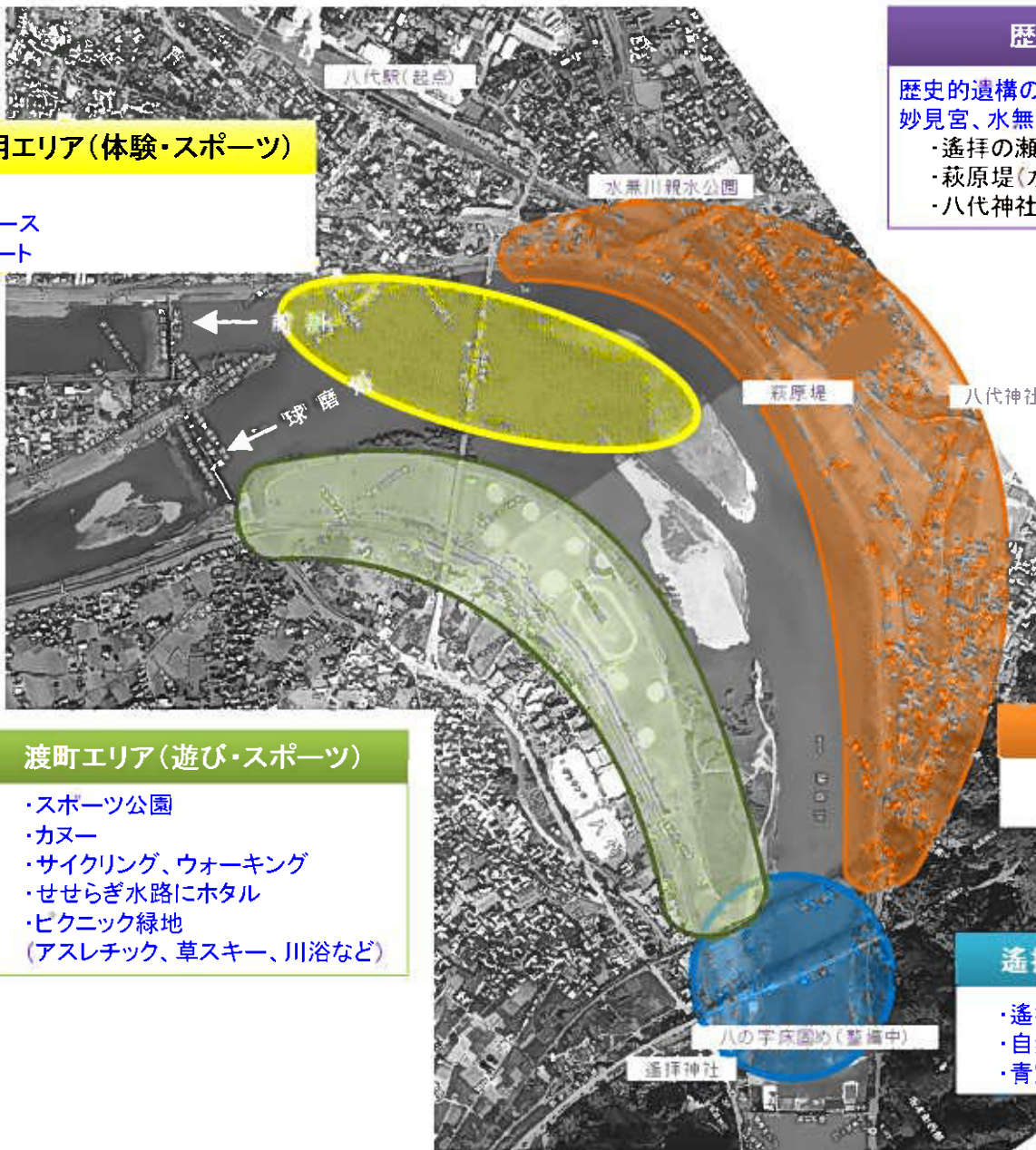


7. 球磨川・新萩原橋周辺地区かわまちづくり構想(案):水辺空間の創出(全体構想)

水面利用エリア(体験・スポーツ)

- ・カヌー
- ・漕艇コース
- ・貸しボート



渡町エリア(遊び・スポーツ)

- ・スポーツ公園
- ・カヌー
- ・サイクリング、ウォーキング
- ・せせらぎ水路にホテル
- ・ピクニック緑地
(アスレチック、草スキー、川浴など)

歴史的遺構へのアクセス

歴史的遺構の魅力を高める説明看板等
妙見宮、水無川、八代駅等へのネットワーク

- ・遙拝の瀬(黒瀬)
- ・三城跡
- ・萩原堤(水はね)
- ・宮崎八郎戦没の碑
- ・八代神社(妙見宮)
- ・遙拝堰

萩原エリア(健康増進・休憩)

- ・歴史的遺構への散策(萩原堤、宮崎八郎等)
- ・サイクリング、ウォーキング

遙拝堰下流エリア(学習・食)

- ・遙拝の瀬(黒瀬)の再生
- ・自然学習
- ・青空市場(地元特産物の販売)

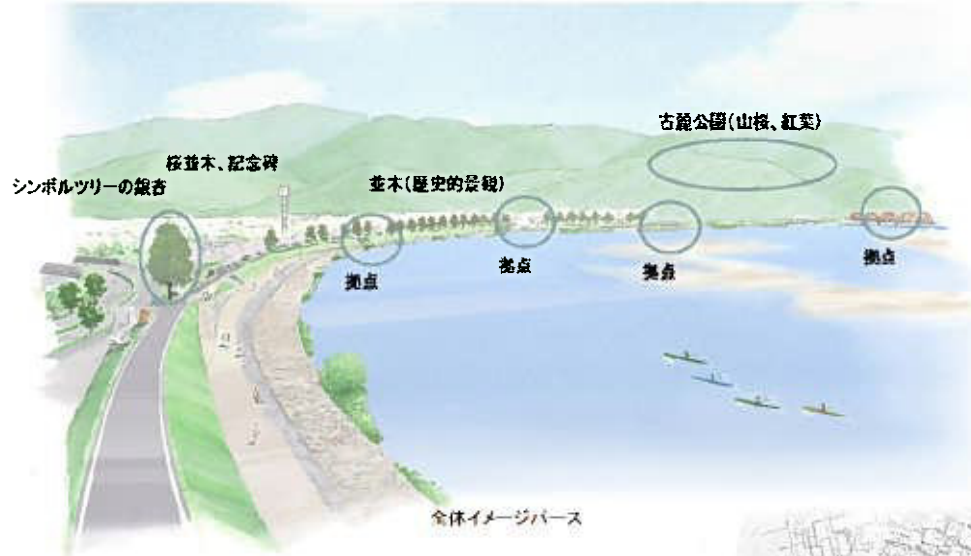
7. 球磨川・新萩原橋周辺地区かわまちづくり構想(案): 水辺空間の創出(遙拝堰下流エリア)

- ・加藤清正がかつて築いたとされる「八の字堰」を、アユ等が好む平瀬を復元するための床固めとして整備中である。
- ・周辺の景観になじむ石造りの「八」の字堰の周辺には、自然学習広場や球磨川河川緑地とのアクセスを考慮した、散策路、車の進入路、駐車場等を設け、新たな街のビューポイントとなるよう視点場を設ける。
- ・将来的には青空市場等の開催により地元の特産品を販売する観光スポットとする。(民間活用)



7. 球磨川・新萩原橋周辺地区かわまちづくり構想(案):水辺空間の創出(萩原エリア)

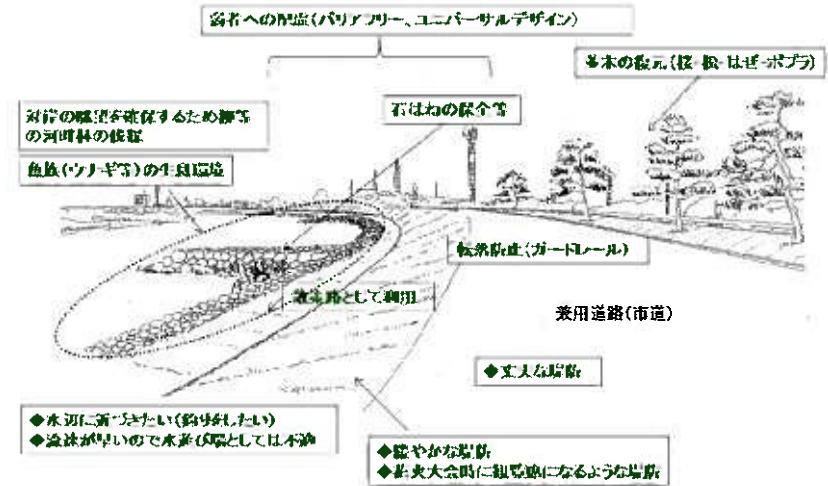
萩原エリアでは、約400年にわたり八代を洪水から守るとともに、かつて名勝“萩原堤”とよばれた景観をふまえ、洪水に対する安全・安心感や歴史・文化を感じる市民の憩いの場としての河川空間の復元・創出をはかる。「おおらかな」「雄大な」「広々とした大河川」の景観の特徴を活かしたデザインとする。



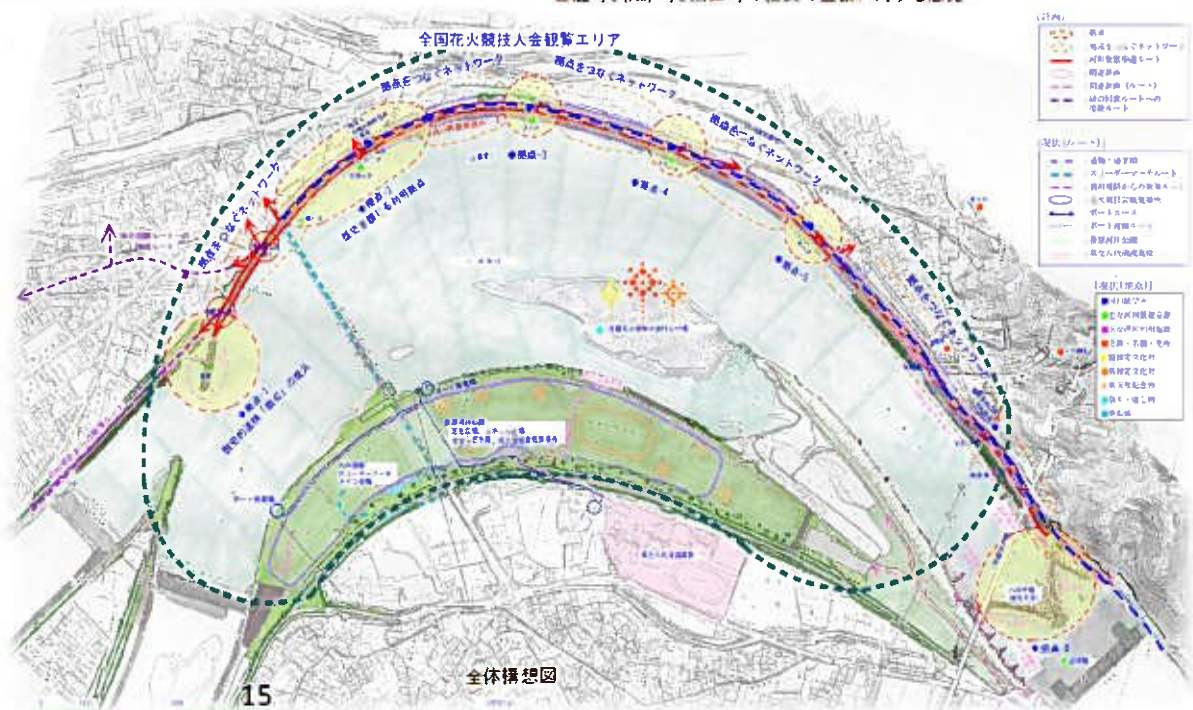
全体イメージパース



拠点2付近イメージパース



古麓町、萩原町、高田町の住民の整備に対する意見



全体構想図